

組合だより JA おからく

'22 10 月号
vol.244

令和4年10月13日発行

発行：おかやま酪農協同組合
責任者：小椋 孝史
津山市川崎94-1
☎(0868)26-1101



酪農危機突破！全国酪農民緊急特別集会

全国酪農民緊急特別集会

9月7日、「酪農危機を突破するための全国酪農民緊急特別集会」が自民党本部8階ホールで開催されました。

岡山県酪農政治連盟から三宅委員長、小村副委員長、女性部から安富副委員長、青年部から藤本委員の4名と事務局の入江が参加しました。

全国から約200人の酪農家が出席し、酪政会の自民党議員の方々に経営の厳しさを訴え、早急な対策を要請いたしました。

集会には、岡山県選出の逢沢議員・平沼議員・山下議員・石井議員とあべ議員（秘書）が駆けつけられ



緊急特別集会

ました。

ロシアによるウクライナ侵攻、海上輸送費高騰、円安などで輸入穀物や粗飼料が高騰し、価格は2倍近く値上がりしており、並行して配合飼料も値上がりしています。さらに、コロナ禍の影響で牛乳消費が低迷し、11月からの乳価の価格改定はあるものの、それだけではいくら待っても光が見えてこない厳しい状況。酪農家の今までの努力が無駄にならないようお願いしたい」「酪農民の自助努力の範囲を超えている」と挨拶で佐藤委員長は窮状を強調しました。

この日は、熊本、徳島、埼玉、秋田の代表が一人ずつ我が家の実情を訴えられました。「資産を取り崩しても今年いっぱい。どのくらい生き残れるか」「子どもたちに後を継いでもらいたいが、今の経営状況では子どもたちに大変な苦勞をさせるのではないかと心配で仕方ない」と訴えられました。

それをうけて自民党酪政会の会長である森英介議員も、用意された原稿を読まずに「皆さんの訴えに胸が詰まる思いだ。経営が持続できるように全力を尽くす」と自らの言葉で応えていただきました。



会場全景

集会での緊急特別要請は、従来の生産基盤強化対策を踏襲のうえ、
1. 購入粗飼料価格の高騰を受ける酪農経営に対する支援
2. 高騰する配合飼料価格に対する適切な対応、支援の継続
3. 上昇した（化学）肥料の価格に対する適切な対応、支援を決定しました。

この緊急特別集会に参加した我々は、自民党酪政会の議員の方々へ、経営安定・生産基盤強化に資する諸対策の拡充により、後継者・担い手が夢と希望を持てる魅力ある酪農となるよう、早急に政府に手を打っていただくことを切に願います。



岡山県出席者（左から安富・入江・小村・三宅・藤本）



集会前の岡山県の皆さん

「供卵牛情報と採卵計画（11月分）」について

岡山県農林水産総合センター 畜産研究所

11月の採卵計画をお知らせします。

ご利用の場合やより詳細な情報が必要な場合は、最寄りの家畜保健衛生所、受精卵移植師の方等にご相談ください。

なお、供卵牛の評価を牛群検定成績から行うため、検定参加農家の方を譲渡対象としています。

また、採卵予定日や交配予定種雄牛は牛の体調・精液の確保状況等により、急遽変更になる場合がありますので、あらかじめご了承願います。

今回の採卵は12月8日(木)を予定しています。
※ご意見ありましたら、よろしくお願います。

交配情報	供卵牛の遺伝能力評価等	採卵予定日
♀：OAC キヤロットケイ ヨダー キアリス ET (コスモポリタン) 1407270799 ・名牛「コスモポリタン」の系統 ・体型・能力ともに兼ね備えた才色兼備型 ・娘牛にも高NTP牛多数輩出	GEBV 総合指数 2% 2108 長命産産効果 8% 73247 産乳 1% 1828 耐久性 19% 284 疾病繁殖 61% -4 乳代効果 3% 115573 年齢 05-09 体高 156.6cm 体長 181.9cm	11/11
♂：パインツリー I パースーツ ET (米TPI第12位) ・高泌乳力かつ、高い飼料効率と低い体細胞数 ・強い免疫 (immunity+) と生産寿命の長さ ・安産傾向で、Totalで欠点の少ない種雄牛	EBV 総合指数 2% 2137 長命産産効果 8% 73247 産乳 2% 1700 耐久性 19% 285 疾病繁殖 4% 152 乳代効果 3% 112892 年齢 06-00 体高 159.8cm 体長 180.1cm	
♀：OAC パール キング パトリ プリズム ET (プロミス) 1407270645 ・低い体細胞数と高い繁殖性 ・泌乳能力、耐久・繁殖性、全てに優れる万能型 ・おとなしい性格も含め、管理形質の高さ	♂：ハートジェンリー リチャード チャール ET (米TPI第13位) ・小柄で、かつ高い飼料効率 ・低体細胞数と高繁殖性など管理形質の良さ ・付着、高さ、高耐久性の乳器	

※GEBV：EBV + ゲノミックの評価値です。



現況調査修正

9月号のおからく便りに掲載しました、令和4年8月1日現在の現況調査の集計に誤りがありましたので、お詫びいたします。改めて訂正のご報告をさせていただきます。

☆戸数・頭数

乳牛の飼養戸数及び頭数は(表1)のとおり174戸、14,894頭と前年8月に比べ戸数では10戸、頭数では328頭の減少となりました。品種別ではホルスタイン種は13,282頭(312頭減)、ジャージー種他は1,612頭(16頭減)でした。

飼養戸数の内訳は、(表2)のとおり関係機関を除く搾乳農家が171戸、育成農家2戸、関係機関4戸です。また、肉用牛飼養農家は41戸でした。

経産牛頭数は10,896頭(273頭減)育成牛頭数は3,998頭(55頭減)。搾乳農家1戸当たりの平均飼養頭数は85.6頭(5.1頭増)、平均経産牛頭数は62.6頭(3.5頭増)。育成牛率は26.8%となり、前年とはほぼ同様です。

☆各地区の飼養状況

乳牛飼養総頭数を地区ごとに見ると(表1)南支所では、西大寺地区が173頭減少、備南地区が89頭増頭、びほく地区が9頭減少。津山支所では、勝英地区が1頭増頭、津山地区が151頭減少、真庭地区が85頭減少となりました。

また、育成牛率で全体の平均より高い地区は津山・西大寺・真庭の順となっています。

☆飼養頭数別の酪農家戸数

(表3)の飼養頭数別酪農家戸数をみますと30頭未満の飼養農家は55戸(31.1%)、30頭から49頭の飼養農家は45戸(25.4%)、50頭から79頭の飼養農家は38戸(21.5%)、80頭から149頭の飼養農家は25戸(14.1%)、150頭から499頭の飼養農家は11戸(6.2%)、500頭以上の飼養農家は3戸(1.7%)となっています。

☆哺育素牛・肥育・和牛繁殖関係の頭数

哺育素牛・肥育・和牛繁殖牛の総頭数は9,083頭です。うち哺育農家、肥育農家、和牛繁殖農家の飼養するホルスタイン・F1・和牛等の頭数は7,600頭となっています。

また、酪農家の飼養する和牛・F1等の哺育素牛・肥育・和牛繁殖牛の総頭数は1,483頭です。

☆飼料作付面積

自給飼料の作付面積については、全体で1,568ha、スーダン・ソルゴー、とうもろこし、その他牧草の順でした。

昨年と比較して、全体の作付面積は減っていますが、1戸当たりの平均では増加となっています。

(生産支援課)

乳牛頭数等取りまとめ表(表1)

令和4年8月1日現在

	南 支 所				津 山 支 所				おからく 合 計
	西大寺	備南	びほく	小計	勝英地区	津山地区	真庭地区	小計	
乳牛飼養戸数 (対前年増減)	28 (-2)	25 (0)	21 (-1)	74 (-3)	28 (-1)	31 (-5)	41 (-1)	100 (-7)	174 (-10)
乳牛総頭数 (対前年増減)	1,055 (-173)	6,309 (89)	1,097 (-9)	8,461 (-93)	2,035 (1)	1,685 (-151)	2,713 (-85)	6,433 (-235)	14,894 (-328)
経産牛頭数 (対前年増減)	703 (-117)	4,791 (18)	815 (4)	6,309 (-95)	1,600 (-19)	1,115 (-112)	1,872 (-47)	4,587 (-178)	10,896 (-273)
経産牛頭数の 占める割合(%)	6.5%	44.0%	7.5%	57.9%	14.7%	10.2%	17.2%	42.1%	
経産牛率(%)	66.6%	75.9%	74.3%	74.6%	78.6%	66.2%	69.0%	71.3%	73.2%
育成牛率(%)	33.4%	24.1%	25.7%	25.4%	21.4%	33.8%	31.0%	28.7%	26.8%
ホルスタイン種	976	6,302	1,097	8,375	2,035	1,685	1,187	4,907	13,282
ジャージー種他	79	7	0	86	0	0	1,526	1,526	1,612

※酪大第1牧場及び第2牧場は1農場とする。

おからく現況調査総括表(表2)

令和4年8月1日現在

		南 支 所				津 山 支 所				おからく 合 計
		西大寺	備 南	びほく	小 計	勝英地区	津山地区	真庭地区	小 計	
酪農家戸数	搾乳農家	27	25	21	73	28	30	40	98	171
	育成農家	1			1			1	1	2
	合 計	28	25	21	74	28	30	41	99	173
関係機関戸数	搾乳農家	1			1		1	1	2	3
	育成農家							1	1	1
	合 計	1	0	0	1	0	1	2	3	4
酪農場総数 (乳牛飼養戸数)	搾乳農家	28	25	21	74	28	31	41	100	174
	育成農家	1			1			2	2	3
	合 計	29	25	21	75	28	31	43	102	177
肉用牛飼養農家戸数		4	5	4	13	10	14	4	28	41
総農家戸数(関係機関を含む)		33	30	25	88	38	45	47	130	218
ホルスタイン 頭 数	6ヶ月未満	62	284	68	414	110	145	85	340	754
	6～24ヶ月	245	1,068	177	1,490	322	418	280	1,020	2,510
	24ヶ月以上	669	4,950	852	6,471	1,603	1,122	822	3,547	10,018
	合 計	976	6,302	1,097	8,375	2,035	1,685	1,187	4,907	13,282
	うち経産牛頭数	651	4,786	815	6,252	1,600	1,115	803	3,518	9,770
ジャージー他 頭 数	6ヶ月未満	5			5			96	96	101
	6～24ヶ月	22	2		24			357	357	381
	24ヶ月以上	52	5		57			1,073	1,073	1,130
	合 計	79	7	0	86	0	0	1,526	1,526	1,612
	うち経産牛頭数	52	5	0	57	0	0	1,069	1,069	1,126
乳用牛総飼養頭数		1,055	6,309	1,097	8,461	2,035	1,685	2,713	6,433	14,894
経産牛頭数		703	4,791	815	6,309	1,600	1,115	1,872	4,587	10,896
乳用牛1戸当たり飼養頭数		37.7	252.4	52.2	114.3	72.7	54.4	66.2	64.3	85.6
乳用牛1戸当たり経産牛頭数		25.1	191.6	38.8	85.3	57.1	36.0	45.7	45.9	62.6

※酪大第1牧場及び第2牧場は1農場とする。

地区別酪農家戸数(育成農家・関係機関を含む)(表3)

令和4年8月1日現在

支所・事務所			平均 年齢	飼 養 頭 数 別 酪 農 家 戸 数													計
				1～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～79	80～99	100～149	150～249	250～499	500～999	1000～	
南支所	西大寺	小計	65	4	2	5	8	4	3	2	0	1	0	0	0	0	29
	備 南	小計	56	2	3	1	2	2	2	2	1	4	2	1	2	1	25
	びほく	小計	59	3	0	8	5	1	1	0	0	1	1	1	0	0	21
	南支所	計	60	9	5	14	15	7	6	4	1	6	3	2	2	1	75
津山支所	勝 英	小計	58	1	1	5	2	6	2	3	3	3	0	2	0	0	28
	津 山	小計	58	2	2	6	4	2	4	4	2	4	1	0	0	0	31
	真 庭	小計	55	3	1	6	6	3	5	10	2	4	3	0	0	0	43
	津山支所	計	57	6	4	17	12	11	11	17	7	11	4	2	0	0	102
合 計			58	15	9	31	27	18	17	21	8	17	7	4	2	1	177

※酪大第1牧場及び第2牧場は1農場とする。

水の重要性について

はじめに

日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？

朝晩の寒暖差も大きくなり、徐々に冷えてまいりますので、どうぞご自愛ください。

さて、今回は「水」についてお話させていただけだと思います。どうしても飼養管理の際に意識が行くのは「飼料」のほうになりがちかと思いますが、最近では五大栄養素に水がプラスされて六大栄養素と言われるほど、水もとても重要な栄養素として考えられています。そういった水がどうして重要視されているのか、水にはどのような機能があるのか、また、乳牛の飲水行動や子牛の飲水制限についてもお話できたらなと思っております。すでにご承知の方も多いかもしれませんが、振り返り程度に読んでいただければ幸いです。

水の重要性

さて、私たち人間にとっても重要な水ですが、乳牛にとっても水はとても重要です。水がなければ生命維持は不可能です。ましてや毎日たく

全国酪農業協同組合連合会

大阪支所

中四国事務所

大竹

美穂

さんの生乳を生産する乳牛にとって、最も多く消費する栄養素とも言われています。体内の水分がわずかに変化するだけでも健康状態、産乳に影響があるそうです。

水の機能

水は乳牛にとって、生乳生産・体温調節など体機能において重要な役割を持っています。具体的には、細胞間で栄養や他の重要な物質の運搬、消化、糞尿、そして呼吸を通して老廃物の排除などを行っています。水分摂取を制限されると、飼料の摂取量の低下や乳量の減少などに影響が出てしまいます。

飲水行動

乳牛の1日の水分摂取量の約40%は、採食と搾乳の2時間以内であると言われています。

また、1日の飲水回数は飼養密度などによっても変化しますが、5～8回程度、1日の飲水量は乳量・飼料の乾物含有量・泌乳ステージ・環境温度などいくつかの要素に左右されます。社会的順位と正の相関があるとも言われているそうです。そして、1日の飲水時間は約13～17分程

あると言われています。このような乳牛の飲水行動を十分に発揮させるためには、水槽の定期的な掃除も重要です。牛にとってアクセスしやすい場所で、新鮮かつ清潔な水を提供することが乳牛の飲水行動を最大限に発揮させる大きなポイントとなります。

子牛の飲水制限について

子牛の飲水制限は子牛の体重増加を38%低下させたり、スターターの摂取量を31%低下させるといったデータがあるようです。このように子牛にとっても水は重要なものだと分かります。「ミルクを飲んでいながら水は給与しなくても大丈夫」ではなく、水は水として自由に子牛が飲めるような環境作りが重要です。

最後に

今回は水について記載させていただきました。文字ばかりで読みにくかったとは思いますが、ご容赦ください。

水は毎日たくさんさんの生乳を生産する乳牛にとって重要な栄養素です。この機会にぜひ愛牛の飲水行動などに注目してみると、また違った目線

で牛を観察することができのかもしれないですね。

何かご不明な点などございましたら、お近くの全酪連スタッフにお問い合わせください。

秋が深まりゆく季節、お身体にお気を付けてお過ごしくださいませ。



第16回全共開催日決定!!

2019年に発生した新型コロナウイルス感染症により延期となっていました全共宮崎大会は、場所を北海道に移し、下記の通り2日間にわたり開催することが決定されました。

ホルスタイン種368頭（一般枠276頭、高校枠20頭、後代検定娘牛枠72頭）、ジャージー種32頭の合計400頭規模となります。

なお、各都道府県の出品頭数割当については、今後のブロック内との協議・調整、日本ホルスタイン登録協会の理事会等を経て決定される見込みです。

- 開催日 令和7年10月25日(土)～26日(日)（2日間）
- 開催場所 北海道勇払郡安平町
- 搬入 令和7年10月20日(月)13時～24日(金)13時まで
- 申込締切 令和7年9月29日(月)

(注8) (注2)

(注5) (注7)

区 別				生年月日の範囲 基準日 令和7年9月30日 (注1)	頭数 400	産地	検定成績証明 ゲノミック評価
ホルスタイン種雌牛	未 経 産	1部	後代検定娘牛 R 6.10.1～R 6.11.30	10月以上～12月未満	24	自 県 産 (注3)	母牛が検定成績証明申 込中（または証明済） ただし、母牛が未経産 の場合は、出品牛がゲ ノミック評価成績を有 し、かつ祖母が検定成 績証明済（注6）
		2部	R 6.8.1～R 6.9.30	12月以上～14月未満	24		
		3部	R 6.6.1～R 6.7.31	14月以上～16月未満	24		
		4部	R 6.4.1～R 6.5.31	16月以上～18月未満	24		
		5部	R 6.2.1～R 6.3.31	18月以上～20月未満	24		
		6部	R 5.12.1～R 6.1.31	20月以上～22月未満	24		
	経 産	7部	後代検定娘牛 R 4.10.1 以降	36月未満（2歳）	24	国 内 産 (注3)	本牛が検定成績証明申 込中（または証明済）
		8部	R 5.4.1 以降	30月未満（2歳ジュニア）	26		本牛が検定成績証明申 込中
		9部	R 4.10.1～R 5.3.31	30月以上～36月未満（2歳シニア）	26		本牛が検定成績証明申 込中（または証明済）
		10部	後代検定娘牛 R 3.10.1～R 4.9.30	36月以上～48月未満（3歳）	24		
		11部	R 4.4.1～R 4.9.30	36月以上～42月未満（3歳ジュニア）	26		
		12部	R 3.10.1～R 4.3.31	42月以上～48月未満（3歳シニア）	26		本牛が検定成績証明済
		13部	R 2.10.1～R 3.9.30	4歳以上～5歳未満	24		
		14部	R 1.10.1～R 2.9.30	5歳以上～6歳未満	24		
		15部	R 1.9.30以前	6歳以上	24		
ジャージー種雌牛	未 経 産	16部	R 6.5.1～R 6.9.30	12月以上～17月未満	8	国 内 産 (注4)	母牛が検定成績証明申 込中（または証明済）
		17部	R 5.12.1～R 6.4.30	17月以上～22月未満	8		本牛が検定成績証明申 込中（または証明済）
	経 産	18部	R 4.10.1 以降	36ヵ月未満	8		本牛が検定成績証明申 込中（または証明済）
		19部	R 4.9.30以前	36ヵ月以上	8		本牛が検定成績証明済 （48月以上は検定 成績証明済）

注1：出品区分の基礎となる年齢は、令和7年9月30日をもって算定する。

注2：出品牛は国内産で血統登録牛（受精卵移植による生産牛は、登録時所有者が居住する都道府県を産地とする）

注3：ホル種未経産牛は自県産で、経産牛は国内産とし、飼養期間は設けない。

注4：ジャ種未経産牛並びに経産牛は国内産とし、飼養期間は設けない。

注5：未経産牛で生後20月以上のものは、妊娠確実であること。180日以上で早流産したものは経産牛とみなす。

注6：22月未満未経産牛は母牛が検定成績証明申込中または証明済みのもの。

ただし、母牛が未経産の場合は、出品牛がゲノミック評価成績を有し、かつ祖母が検定成績証明済みのもの。

注7：輸入受精卵によっては生産された出品牛の母牛の検定成績及びゲノミック評価成績は、当該外国登録団体が発行する証明書により判定する。

注8：後代検定牛とは、わが国の後代検定事業に参加している種雄牛を父にもつものをいう。

バター作り体験

9月23日、「バター作り教室」を津山市の(株)坂手ファームで行いました。

参加者は「牧場見学・体験ツアー」の一般消費者の方たち（旅行会社・雑誌の編集者・観光協会の方々・美作大学生など）総勢10名が、概要説明の後、バター作りを体験しました。

皆さんバター作りは初めてで、興味津々の中、生クリームの入ったボトルを振り、時々ボトルの蓋を開け中がどうなっているか確認しながら、



ドキドキのバター作り初体験



ワクワクの試食

ら、楽しそうにバターを作られました。

全員が出来上がったところで、クラッカーにつけて試食。「牛乳でもバターが作れるの?」「こんな簡単にバターが作れるのね」「フレッシュバターで美味しい」「出張お願いできるの?」等、いろんな感想や意見をいただきました。

小さな活動ですが、このような体験をとおして酪農への理解醸成・牛乳乳製品の消費拡大へつながっていければと思います。

(生乳課)

ひろば

北の国から2022夏

蒜山事務所 山口 英範

木々の色づきに秋の深まりを感じる頃になったわけで…。

この場をお借りしまして、蒜山の夏の話を見せてください。今年是全国各地で夏祭りが開催され、蒜山地域でも大小合わせて8カ所で3年ぶりの夏祭りがありました。蒜山のすべての夏祭りに欠かせないのが「大宮踊」です。「大宮踊」とは、蒜山地域に古くから伝わる盆踊りです。神社や寺で毎年、子孫繁栄や豊作などを願う伝統の踊りで、国の重要無形民俗文化財に指定されています。音楽はなく、生唄と太鼓のリズムのみで踊ります。江戸時代から踊られてきたとの説もありますが、起源には諸説あり詳細は定かではありません。この踊りの普及活動を行う団体が「大宮踊保存会」と、地域自主組織として旧川上村上福田地区の青年有志で結成された「うわはん会」があります。唄い手、太鼓、踊り手の3チームで構成され、私も昨年から両団体に踊り手として入会し、はじめは軽い付き合い程度でしたが、練習を重ねるうちに、誰よりもうまく踊りたいなどと思うようになり、しまいは、こういう文化を絶やしてはならない…などというある種、責任感のようなものが芽生えてしまいました。まんまと憑りつかれてしまったようです。こんなはずじゃなかったのですが、今では、保存会の重鎮の方々や地域の方々に踊りを褒めていただけるようになり、若干調子に乗っている私は、今後、踊りを極めた後、太鼓も唄も極めてやろうと思っています。この「大宮踊」という文化を多くの人に知っていただきたいと思



全農岡山県本部総合家畜市場 I V F 上場結果

IVF・ET産子（出場頭数・落札価格）

（価格はすべて税別）

開催月	性別	出場頭数	成立頭数	平均体重	平均日齢	最高価格	最低価格	平均価格
7月	メス	17	17	100	86	499,000	201,000	318,059
	オス	33	33	98	80	519,000	169,000	375,515
8月	メス	19	19	91	73	455,000	300,000	367,053
	オス	27	26	95	76	500,000	282,000	403,231
9月	メス	13	13	94	83	456,000	297,000	353,846
	オス	46	46	106	82	519,000	79,000	398,283

理事

会報

告

令和4年8月31日、第262回理事会を理事11名、監事3名が出席し、開催した。

長恒組合長より酪農一般情勢等について報告された。

次に、8月3日、4日に実施した令和4年度6月末基準日とする監事監査の結果について各監事より報告された。

その後、次の事項を協議し、決定した。

○令和4年度生乳需給安定化対策について

令和4年度7月の生乳需給安定化対策の進捗状況等について報告した。

○ヨーネ病支援対策事業の継続について

ヨーネ病支援対策事業は2年ごとの見直しとなっており、ヨーネ病のみならず疾病対策に有効であり継続することを承認した。

○酪農経営緊急支援対策について

酪農窮乏下対策の内容について協議し支援内容を決定した。

○全酪連出資配当金の取り扱いについて

全酪連出資配当金の取り扱いについて協議し全酪連への増資を行うことを決定した。

○報告事項

仮決算の日程について、現況調査の取りまとめについて、チェックシート未記入農家への対応について、酪農政治連盟全国酪農民緊急特別集会について、全酪連事業分量配当の取り扱いについて、びほくSPの営業日時変更について、津山・真庭地区及び蒜山地区全戸巡回の延期について報告した。

人事

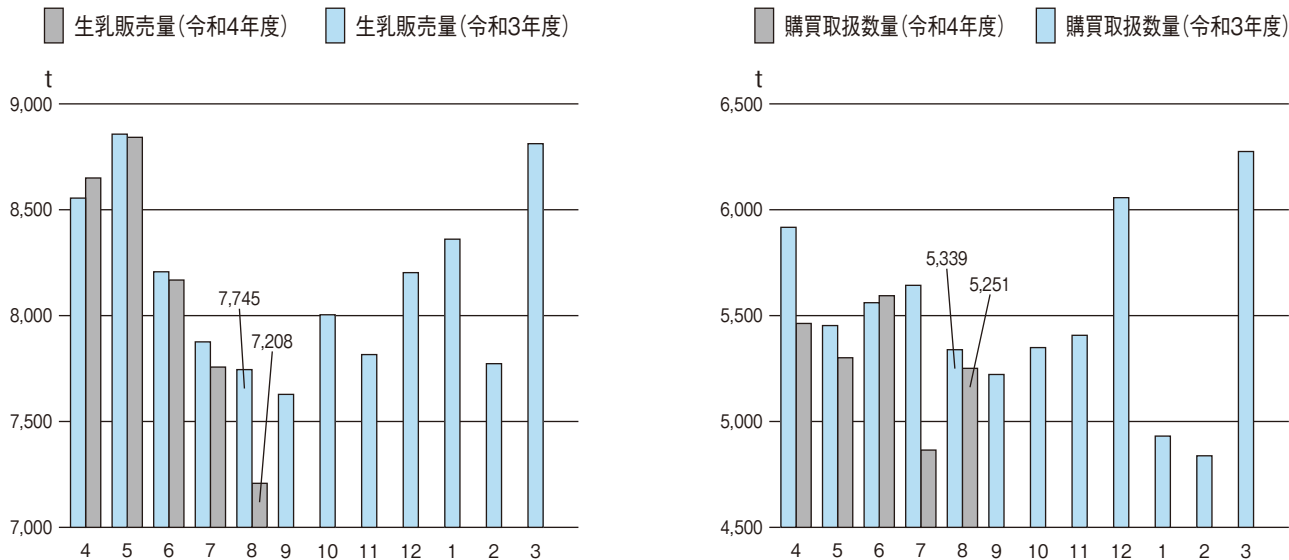
異動（令和4年10月1日付）

英保 美咲（津山支所）

（総務部付）



おからく事業実績



生乳統計

※中央酪農会議速報より抜粋

地域	月	生産量(トン)	用途別処理量(トン)			前年比(%)			
			飲用乳等向け	乳製品等向け	その他	生産	飲用	乳製品	その他
全国	8	589,666	297,557	147,261	144,848	99.0	98.6	98.2	100.8
	4~8	3,061,051	1,525,230	796,885	738,931	100.3	98.0	103.1	102.1
岡山県	8	7,186	7,052	65	69	93.2	95.0	36.3	68.3
	4~8	40,539	38,488	1,568	483	98.5	97.8	119.1	97.6
北海道	8	347,289	78,386	128,727	140,176	99.9	99.5	99.1	100.9



10月の主な行事

- 3日 現物監査
- 9日 「コロナに負けるな！
元気なまち勝央パワー回復まつり」
- 12日 「牛乳大好き！
絵画コンクール」審査会
- 14日 おからく教育振興会理事会・
評議員会
- 15日 牛乳・乳製品利用料理
コンクール岡山県大会
- 17日 津山・真南地区全戸巡回
- 24日 管理職会議
- 27日 酪政連美作支部議員懇談会
- 29日～30日 第77回岡山県畜産共進会
- 31日 理事会

北海道初妊牛価格

9月については、大手畜産業者の民事再生法申請から副産物価格がさらに暴落、飼料高と併せて導入意欲は減退しており、平均価格は税込46万9千円（前月比4万7千円安）と弱含みで推移しました。

10月については、下牧に向けて出回り頭数が増加する時期となる中、飼料高と生乳生産抑制に加え、副産物価格の低迷により導入は一定の更新需要に留まると見られ、相場は弱含みで推移することが予想されます。